

第3章 従業地・通学地 《従業地・通学地による人口・就業状態等集計》

1 昼間人口

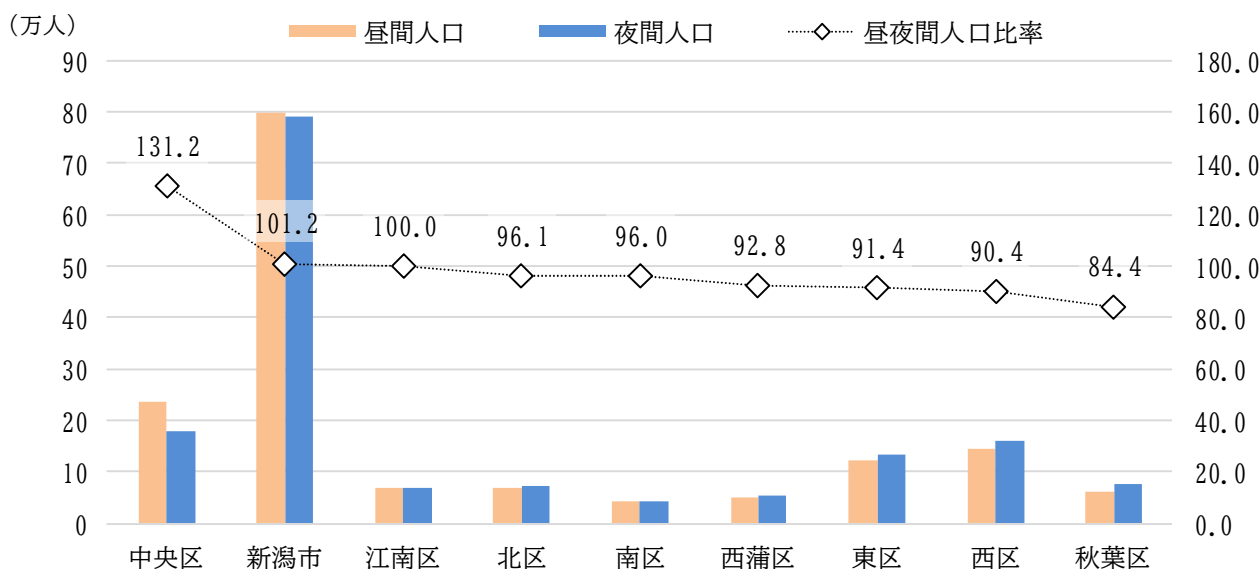
昼間人口は798,479人で、昼夜間人口比率は101.2

令和2年の昼間人口（従業地・通学地による人口）は798,479人で、夜間人口（常住人口）789,275人よりも多く、昼夜間人口比率は101.2となりました。

昼夜間人口比率を行政区別にみると、最も高いのは中央区で131.2、最も低いのは秋葉区で84.4となっています。

平成27年と比べると、新潟市の昼夜間人口比率は0.2ポイント減少しています。行政区別で昼夜間人口比率のポイント差が大きいのは、北区で2.2ポイントの増加、中央区で2.0ポイントの減少となっています。

図1 新潟市の昼間人口・夜間人口と昼夜間人口比率（行政区別 令和2年）



注) 不詳補完値による。昼夜間人口比率の高い順に掲載。

表1 新潟市の昼間人口・夜間人口と昼夜間人口比率（行政区別 平成27年・令和2年）

市・行政区	昼間人口 (人)		夜間人口 (人)		昼夜間人口比率		昼夜間人口比率 ポイント差
	平成27年	令和2年	平成27年	令和2年	平成27年	令和2年	
新潟市	821,867	798,479	810,157	789,275	101.4	101.2	△ 0.2
北区	71,651	69,979	76,328	72,804	93.9	96.1	2.2
東区	126,655	122,910	137,577	134,446	92.1	91.4	△ 0.7
中央区	244,834	236,640	183,767	180,345	133.2	131.2	△ 2.0
江南区	68,479	67,997	68,906	67,972	99.4	100.0	0.6
秋葉区	65,674	63,353	76,843	75,069	85.5	84.4	△ 1.1
南区	43,236	41,702	45,685	43,437	94.6	96.0	1.4
西区	148,110	145,294	162,833	160,656	91.0	90.4	△ 0.6
西蒲区	53,228	50,604	58,218	54,546	91.4	92.8	1.4

注) 不詳補完値による。

2 就業者・通学者

(1)新潟市に常住する就業者・通学者の9割以上が市内で従業・通学

新潟市に常住する就業者・通学者は500,350人で、そのうち就業者は404,031人、通学者は96,319人となっています。

その従業地・通学地の割合をみると、自宅で従業している者が7.1%、自宅外の自区で従業・通学している者が54.8%と、過半数となる約6割が自区内で従業・通学しています。また、市内他区で従業・通学している者は29.7%で、あわせて9割以上が市内で従業・通学しています。なお、平成27年と比べると、それぞれの割合は、ほぼ横ばいとなっています。

図2-1 従業地・通学地別 新潟市常住の就業者・通学者数の割合（平成27年・令和2年）

	市内			市外		(%)
平成27年	自宅 7.5	自宅外の自区 54.9	他区 29.5	県内 7.4	他県 0.7	
令和2年	自宅 7.1	自宅外の自区 54.8	他区 29.7	県内 7.9	他県 0.4	

注) 不詳補完値による。

表2-1 従業地・通学地別 新潟市常住の就業者・通学者数（平成27年・令和2年）

従業地・通学地	人 口 (人)		割 合 (%)		割 合 の ポイント差
	平成27年	令和2年	平成27年	令和2年	
就業者・通学者数	511,218	500,350	100.0	100.0	
市内 自宅で従業	38,437	35,375	7.5	7.1	△ 0.4
自宅外で従業・通学					
自区	280,696	274,232	54.9	54.8	△ 0.1
他区	150,595	148,803	29.5	29.7	0.2
市外 県内	38,061	39,727	7.4	7.9	0.5
他県	3,429	2,213	0.7	0.4	△ 0.3
うち就業者数	407,944	404,031	100.0	100.0	
市内 自宅で従業	38,437	35,375	9.4	8.8	△ 0.6
自宅外で従業					
自区	198,551	196,810	48.7	48.7	0.0
他区	133,051	132,815	32.6	32.9	0.3
市外 県内	35,480	37,458	8.7	9.3	0.6
他県	2,425	1,573	0.6	0.4	△ 0.2
うち通学者数	103,274	96,319	100.0	100.0	
市内					
自区	82,145	77,422	79.5	80.4	0.9
他区	17,544	15,988	17.0	16.6	△ 0.4
市外 県内	2,581	2,269	2.5	2.4	△ 0.1
他県	1,004	640	1.0	0.7	△ 0.3

注) 不詳補完値による。

(2)新潟市を従業地・通学地とする就業者・通学者の9割近くが市内に常住

新潟市を従業地・通学地とする就業者・通学者は509,554人で、そのうち就業者は405,587人、通学者は103,967人となっています。

その常住地の割合をみると、市内に常住し、自宅で従業している者が6.9%、自宅外の自区で従業・通学している者が53.8%、市内他区で従業・通学している者が29.2%となっていて、新潟市で従業・通学する者のうち9割近くが市内常住者です。また、約6割は自区内で従業・通学し、3割近くが区を超えた市内で従業・通学しています。

なお、平成27年と比べると、それぞれの割合は、ほぼ横ばいとなっています。

図2-2 常住地別 新潟市で従業・通学する就業者・通学者数の割合(平成27年・令和2年)

	市内			市外 (%)	
平成27年	自宅 7.4	自宅外の自区 53.7	他区 28.8	県内 9.5	他県 0.7
令和2年	自宅 6.9	自宅外の自区 53.8	他区 29.2	県内 9.6	他県 0.5

注) 不詳補完値による。

表2-2 常住地別 新潟市で従業・通学する就業者・通学者数(平成27年・令和2年)

常住地	人口 (人)		割合 (%)		割合の ポイント差
	平成27年	令和2年	平成27年	令和2年	
就業者・通学者	522,928	509,554	100.0	100.0	
市内 自宅で従業	38,437	35,375	7.4	6.9	△ 0.5
市内 自宅外で従業・通学					
自区	280,696	274,232	53.7	53.8	0.1
他区	150,595	148,803	28.8	29.2	0.4
市外 県内	49,705	48,682	9.5	9.6	0.1
市外 他県	3,495	2,462	0.7	0.5	△ 0.2
うち就業者	412,090	405,587	100.0	100.0	
市内 自宅で従業	38,437	35,375	9.3	8.7	△ 0.6
市内 自宅外で従業					
自区	198,551	196,810	48.2	48.5	0.3
他区	133,051	132,815	32.3	32.7	0.4
市外 県内	39,721	39,209	9.6	9.7	0.1
市外 他県	2,330	1,378	0.6	0.3	△ 0.3
うち通学者	110,838	103,967	100.0	100.0	
市内					
自区	82,145	77,422	74.1	74.5	0.4
他区	17,544	15,988	15.8	15.4	△ 0.4
市外 県内	9,984	9,473	9.0	9.1	0.1
市外 他県	1,165	1,084	1.1	1.0	△ 0.1

注) 不詳補完値による。

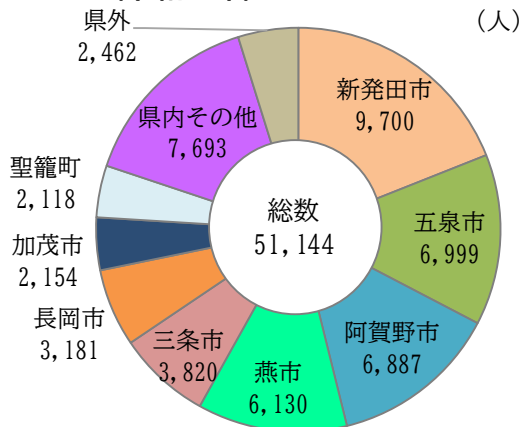
3 流入・流出

流入人口が流出人口を 9,204 人上回る

就業者・通学者について、他市町村との流入・流出の状況を見ると、流入人口（新潟市外からの通勤者・通学者）は 51,144 人、流出人口（新潟市外への通勤者・通学者）は 41,940 人で、流入人口が流出人口を 9,204 人上回っています。

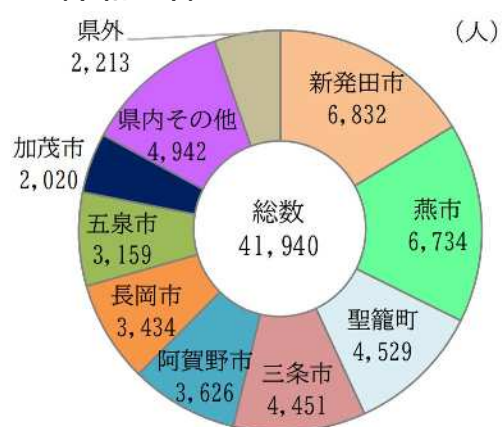
流入人口を常住地別にみると、県内市町村のうち新発田市、五泉市、阿賀野市の順で大きくなっています。一方、流出人口を従業地・通学地別にみると、県内市町村のうち新発田市、燕市、聖籠町の順で大きくなっています。また、流入人口から流出人口を差し引くと、流入超過数が大きいのは五泉市、阿賀野市、新発田市の順で、流出超過数が大きいのは聖籠町、三条市、燕市の順となっています。

図 3-1 常住地別 新潟市への流入人口 (令和 2 年)



注) 不詳補完値による。

図 3-2 従業地・通学地別 新潟市からの流出人口 (令和 2 年)



注) 不詳補完値による。

表 3-1 常住地別 新潟市への流入人口 (平成 27 年・令和 2 年)

年次	総数	新発田市	阿賀野市	五泉市	燕市	三条市	長岡市	加茂市	聖籠町	県内その他	県外
平成 27 年	53,200	9,660	7,207	7,106	6,089	3,804	3,215	2,327	1,996	8,301	3,495
割合 (%)	100.0	18.2	13.5	13.4	11.4	7.2	6.0	4.4	3.8	15.6	6.6
令和 2 年	51,144	9,700	6,999	6,887	6,130	3,820	3,181	2,154	2,118	7,693	2,462
割合 (%)	100.0	19.0	13.7	13.5	12.0	7.5	6.2	4.2	4.1	15.0	4.8

注) 不詳補完値による。

表 3-2 従業地・通学地別 新潟市からの流出人口 (平成 27 年・令和 2 年)

年次	総数	新発田市	燕市	聖籠町	三条市	長岡市	阿賀野市	五泉市	加茂市	県内その他	県外
平成 27 年	41,490	6,720	6,597	4,244	4,152	3,381	3,381	2,988	2,015	4,583	3,429
割合 (%)	100.0	16.2	15.9	10.2	10.0	8.1	8.1	7.2	4.9	11.0	8.3
令和 2 年	41,940	6,832	6,734	4,529	4,451	3,626	3,434	3,159	2,020	4,942	2,213
割合 (%)	100.0	16.3	16.1	10.8	10.6	8.6	8.2	7.5	4.8	11.8	5.3

注) 不詳補完値による。

表 3-3 流入・流出超過数 (平成 27 年・令和 2 年)

年次	総数	五泉市	阿賀野市	新発田市	田上町	村上市	三条市	燕市	聖籠町	県外
平成 27 年	11,710	4,118	3,826	2,940	1,088	852	△348	△508	△2,248	66
令和 2 年	9,204	3,840	3,261	2,868	1,005	620	△604	△631	△2,411	249

注) 不詳補完値による。